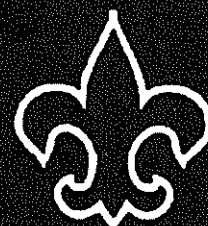


# REINANZAKA SCOUT CLUB



霊南坂スカウト交流の場 2009年10月15日号  
発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403

No.37

## クリスチャンスカウトとして BS団委員長 杉原 正



「神と国とに誠を尽くし、おきてを守り人を助ける、僕たちスカウトの小さな愛のわざが、この世に平和をもたらすのだ・・・」、この団歌の始まりの言葉は、キリスト教を基盤として活動する港第1団(旧東京第4隊)の目指すところを示しています。

「まず神の愛ありき」の創始者ベーデン・パウエルのキリスト教信仰に発芽し、スカウト運動は世界中に広がり、育まれてきました。

このことを踏まえて世界スカウト機構では、規約のはじめに「スカウト運動の原理」を定め、原理とは目的を達成する際に守らねばならない基本的な規則と信念のことであり、原理はスカウト運動のすべての加盟員を特徴づける行動規範を表したものである」として

〈神へのつとめ〉〈他へのつとめ〉〈自分へのつとめ〉の三つの幅広い原理に基盤が置かれています。

〈神へのつとめ〉は、人生の精神的価値と人のつながりのことを言っており、〈他へのつとめ〉は、言葉の最も広い意味で社会と人のつながりのことであり、〈自分へのつとめ〉は、自分自身に対しての人の義務のことです。

この〈神へのつとめ〉についてボーイスカウト日本連盟は、「加盟員が、それぞれ明確な信仰を持つことを奨励する」ことを教育規定に定め、また「スカウトOWNは、加盟員各自の信仰心を高揚するために行われ、それは「ちかい」と「おきて」の実践をより深めるものである」としています。

3年前にボーイスカウト年令を対象に「信仰奨励章」が設けられ、スカウトOWNの実施が奨励されています。港第1団では、本年度から各隊(全ての隊)で「スカウトOWN」が行われるよう取組みが始まりました。各隊の活動の中で「スカウトOWN」を通して「ちかい」と「おきて」の実践、そして宗教的情操の醸成がはかれるよう精励していきます。

また、かつてマザー・テレサが来日された際、上智大学での講演の後での学生の質問に、愛の一つの形として「愛は行動である」と答えています。「まず神の愛ありき」の信仰を深く受け止め、港第1団が団歌にあるように「愛のわざ」が実践できるクリスチャンスカウトを一人でも多く育むことができるよう、神様のお導きの中でリーダーや団委員、また育成会員のご協力を得ながら進みたいと思います。

*The royal road to happiness is through brotherhood and service, plus appreciation of nature, coupled with a sense of humour:*

Headquarters Gazette, July 1921



ベーデン・パウエルの言葉  
自然への愛と、ユーモアのセンスを伴った兄弟愛と奉仕こそは、我々を幸福へ導く素晴らしい道である。

## 恒例の合同キャンプファイヤー



9月5日、スカウト達にとって夏休み最後のイベントである、合同キャンプファイヤーを教会駐車場で賑やかに開催しました。インフルエンザの予防も考慮して19時には終了しました。初めて参加された主任牧師の押川先生と沢江先生もスカウトたちの元気な様子に喜んでくださいました。



スカウトクラブ、サポート隊はGS/BSリーダー、保護者をはじめ教会関係者を対象に6月27日、消防庁の救急法講習会を開催しました。受講者は、東京消防庁より上級救命技能認定証（3年間有効）を受領しました。

受講者は以下の皆さんでした。池田美和子、池田涼子、池田晃浩、池田恵美子、上原純代、梅沢佳美、梅澤佑季子、大槻敬太郎、分田麻由子、倉持雅人、西郷崇子、白崎明江、清水康輝、鈴木康世、田中新二、中山明美、中田信子、内藤正樹、松本純子、光野実江、陸川直世、山本泉美、矢島尊子、矢澤宏子

#### 自己管理をちゃんと

BSローパー 池田晃浩

日常生活の中で、私の目の前で人が倒れているということは、ほとんど無いと思う。しかし、そんなことが起きた時、処置ができなかったら倒れた人はきっと助からない、私は全ての人が救命の正しい知識を持つべきではないかと講習を受けて思った。実際に講習を受けて、間違っていて覚えていたこともあったので、それを実行していなくてよかった。上級救命の資格を取得したからには、まず自己管理をちゃんとしなければならないと思った。他人が倒れる前に自分が倒れてしまっただけでは資格を持っている意味がないからだ。責任感を持ち、率先して行動する、スカウトであるまえに人としてそうした事が出来なければいけないと改めて思いました。

#### 救急法講習会に参加して GSリーダー 梅澤佑季子

6月半ばにスカウトクラブ主催の上級救命コースに参加させていただきました。参加したいと思ったのも、リーダーとして一般社会人として、いざというときに知っておくべき、または知らなければならぬことが学べると思ったからです。

この上級救命講習は応急手当、つまり救急車や救急隊が到着するまでの6～7分の間、一般人である私たちが傷病者の手当を行う行為に加えて、AED（自動体外式除細動器）の使い方の訓練です。

主な内容は心肺蘇生、自動体外式除細動器(AED)の使用方法、窒息の手当、止血の方法、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法を行いました。

この講習は高校生の時にも受講していましたが、当時はAEDがなく、駅前などで見かけるだけでしたが、今回初めて触れることになり、「壊してしまうのではないか、自分に扱いが出来るものなのか」という

不安がありましたが、実際に触れてみると専門的な難しい操作ではなく、消防士の方々の親切で丁寧な指導もあり、音声ガイドに従いゆっくり落ちついて行えば誰にでも簡単に操作できるということが解りました。

私は以前に自分の目の前で交通事故を目撃したとき、不安と緊張から119番に通報することができず、後悔したことがありました。しかし今回の講習を受けて、自分の目の前で倒れている人に遭遇することになったら、

ゆっくり落ち着いて周りの状況を確認し、少しの勇気をもって処置を行えば助かる命がある、ということを確認いたしました。このような講習会を多くの方が興味を持って参加するようになることを祈り、ガールスカウトリーダーとして、スカウトに伝えたいと思います。そして企画をしてくださったスカウトクラブの方々に感謝しております。

#### 「上級救命技能講習を受けて」

GSレンジャー母 陸川直世



ちょうど1年ほど前のこと。呑気な野球観戦の帰り道、目の前に男性が倒れていた。

奥さんと思われる方がしきりに名前を呼びかけている。胸骨圧迫を始める。AEDを届ける人、近所の交番に駆けつける人、救急車の到着までの時間の長かったこと。避難訓練で胸骨圧迫の大切さはしっ

かり学んではいたものの目の前の急病人に立ちすくむだけの自分が歯がゆかった。

それ以来この講習をずっと受けたいと思っていた。

講師は最近まで救急隊にいらしたベテランレスキューの方々柔らかい口調の中にも救命の現場の厳しさもしっかり伝わってくる。

まずは応急処置がいかに大切かの話から、早速救命実技訓練

- 意識の確認
- 救急車、AEDの手配
- 呼吸の確認
- 気道の確保
- 人工呼吸の仕方(今は感染予防

の心配からしなくてよいとされて  
います)

○胸骨圧迫の仕方(何よりもこれが  
大事、回復後にも大きく影響しま  
す)

○AEDの使い方

その他にも気道異物除去法、止血の  
仕方、三角巾の応急処置方等々緊急  
時の対応方法、それはそれは意味あ  
る講習会となった。意味ある講習会  
となった。

では、目の前に見知らぬ人がぱたり  
と倒れた・・・

すぐに習ったことが出来る？

答えは「NO」かもしれない・・・

でも「私手伝えます!」と言える自  
信がついた。

そしてもし自分の知る人だったらた  
ぶん最善をつくしてあげられると思  
う。

そんなことは、ないに越したことは  
ないのだけれど・・・

講師の方が言っていました。

「講師やっているけど家内にはまだ  
教えていないんだよ!」

そうよね。身近に教えておかないと  
私のことは誰が助けてくれるの・・・

早速ガールスカウトの娘に伝授する  
ことにしよう!



六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

**島唄楽園**

SHIMANETA PARADISE

\* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています \*

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階

TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階

TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00 日・祝休

日本初の万華鏡の店 誠志堂マイヤーズ TEL:03-3401-9291

リレー投稿

役員会に加わって一年

浅田きよみ

スカウトクラブの役員会に加わ  
って活動し始めて、一年が過ぎよう  
としています。

私の霊南坂スカウトとの出会いは  
教会バザーに誘われ、息子がビーバ  
ーに入団しお世話になったのを機  
に、私自身もカブのリーダーとして  
昨年までご奉仕させていただき、学  
校以外で集える経験は、親子共々貴  
重なもので、客観的に息子を見る経  
験も出来ました。

それ以上に、素敵な友人にも恵ま  
れ、現在に至っています。

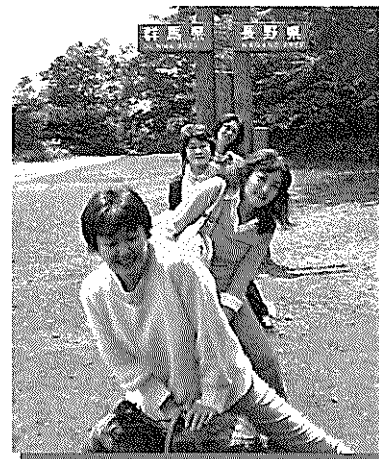
以前は、スカウトクラブの方々のサ  
ポートを、リーダーとして心強く思  
っていました。

月に一回、会議をしています。6  
月は、バザーのための準備制作に西  
郷さんの軽井沢の別荘に女性5人  
で行きました。

ガールスカウト経験者の方々のな  
で、企画から行動までが、当然の事  
ですが、スムーズに流れていきまし  
た。長年のスカウト活動で培われた  
経験のなせる技なのだと痛感しま  
した。

木々の緑に囲まれ、自然の中で楽  
しい時を過ごせました。

霊南坂教会のバザーに出品する制  
作品を夕食後に作りました。一人で  
作るよりも、お喋りにも花が咲き楽



しく作ることが出来ました。

これもスカウトクラブの仲間として  
加わって得られる経験です。

バザー当日は、様々な色合い・模様  
のシュシュを、ご覧になって下さい。  
また当日は、久しぶりに出会う人々  
がいる事でしょう。

皆さん、是非、教会に足を運んでの  
参加をお待ちしています。

この会報は、現在のスカウト達の  
活動も掲載しますが、スカウトクラ  
ブの方々の情報交換の場としても、  
大いに活用して頂く事を望みます。

今号から霊南坂スカウトに連なる  
メンバーのみなさまで順次リレー投  
稿するコーナーをスタートすること  
になりました。

先ずは新しく役員会に加わった4人  
のトップバッターとして私、浅田き  
よみが担当しました。

リレー投稿ですから、次は素敵なバ  
ザーの制作品を考え出す、現役レン  
ジャーのお母さまでガールスカウト  
の団委員の山本さんをお願いしたい  
と思います。

いずれ順番にどなたからか投稿の依  
頼が回って来るかも知れません。

その時は、どんなテーマでも、自己  
紹介、趣味、特技、宣伝等々ご自由  
に投稿をお願いいたします。

最後になりましたが、私達とスカ  
ウトクラブの活動を、一緒にして下  
さる方々が一人でも増えると嬉しい  
と思っています。

みどりの感謝祭に参加して

ジュニア部門 寺本真由



5月9日、私は日比谷公園で行われた、「みどりの感謝祭」に参加をしました。4団からは、シニ

ア三人、ジュニア二人の計五人の参加でした。

私達の今回のご奉仕は、行進をすることと緑の羽根の募金をすることでした。緑を大切にしている他の団体の人達と一緒に行進をしました。

たくさんの団体があって、びっくりしました。こんなにたくさんの人達が緑を大切にしていれば、緑の多い世の中になると思いました。

カの身体は固かった。そして深い水槽に落ちそうでした。

初めは嫌だ！嫌だ。と言っていたけれど終わってみると、とても楽しかったようで、記念写真を大事に持っていました。

午後は近隣の浜辺で砂遊び。山を作ったり、貝殻を見つけたり。慣れてくると海に入りパチャパチャ水遊びをし、洋服はびっしょり。

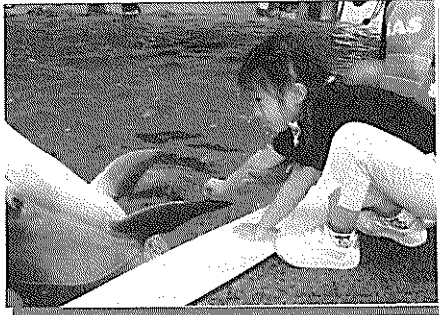
帰りの電車では疲れもあり、ぐっすり眠り、駅に着いてもまだ眠そうでした。

お天気にも恵まれ、イルカを触ったり、普段できない体験をし、とても良い思い出になったハイキングでした。私もスカウトと一緒に楽しんでしまいました。

スカウトは少ないけれど、これからもたくさんお出かけをして、楽しい思い出をいっぱい作っていかれたらと思います。

夏のハイキング in 江ノ島

テンドーフトリーダー 池田亮子



7月4日テンドーフト初めてのハイキングへ行ってきました。スカウト1名の為、淋しいなあ・・・と思っていましたが、いざ行ってみると楽しいハイキングとなりました。目的地は「新江ノ島水族館」広い館内、大きい水槽に始は緊張

していて、リーダーと手をつなぎ、じっくり見ていましたが、時間がたつにつれ「あれ見たい！」・「こっちだよ」とスカウトから行きたい所を教えてください自由に見て回りました。

イルカショーを見たあと、イルカに触れるというイベントをやっていたので挑戦してみました。

「こわい。触りたくない」と言っていたスカウト。リーダーと手をつなぎ、イルカの目の前へ。係員のお話を聞き、ドキドキしながら触っていました。私も一緒に触ってみると、思っていたよりもイル

キャンプの思い出

ブラウニー 佐野 萌



前、ガールスカウトのキャンプに行きました。

バスで、修善寺えきにいきました。前は、バスでよっちゃったけど、今年はやわなかったです。とてもうれしかったです。ついたらつぎの日は、いっぱい遊びました。

とても楽しかったです。その日、しかを見れて、ふしぎだったです。その日による、さそり座を見れてうれしかったです。そのほかにも、いっぱい星が

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ カタログ 名刺 その他広告&  
リーフレット DM 販売促進ツール  
パンフレット  
デザイン・印刷  
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブンス 7sense CALL 03-3583-0877

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F

FAX 03-3589-5181

Mail info@7sense.co.jp



見えました。その日のよるねるとき、ぞうなのに、ほかの人は「ゆうれいだ!!」「おばけだ!!」で言っていました。かえりのバスとき、すっごくじゅうたいしていました。ようやくお母さんたちがいるえきにつきました。行きは四時かん半ぐらいで、かえりは、ふつうの三時かんちょっとでした。おうちにかえって、かたづけはお母さんにやってもらいました。だから、なんにも、おうちにかえってもしなかったです。

### 夏のキャンプ感想

Brリーダー 瀬川紫穂

ブラウニーのリーダーになって私にとって初めての夏キャンプでした。

今回は二日目からの参加となりましたが、リーダーになってからのスカウトに教えることの難しさや気転が必要なことなど学ぶことの多い夏キャンプとなりました。それとお同時に、東京を離れて自然豊かな土地で二泊三日のキャンプはとても楽しいものとなりました。スカウトにとっても二日目の「虹の郷」でのプログラムは深く思い出に残ったようです。大きなアスレティックで思いっきりはしゃぐスカウトを見ていたら、自分のブラウニーだった姿と重なり懐かしく思いました。

リーダーとしても、まだ半人前ですが経験をどんどん積んで一人前のリーダーになりたいと思いました。

### 雨にもめげず

Jr. リーダー 小内一子

テントを建て終わった時、ちょうど、空から雨粒が降ってきた。まるで、空がタイミングを見計らっていたかのような降り出しに驚きながらも、スカウトがおちついて設営することができてほっと胸

をなでおろした。

しかし、次の日。バケツをひっくりかえしたかのような豪雨。

午前中のプログラムはやむなく中止し、スカウトはテント内で待機、翌日のキャンプファイヤーのスタントを考えてもらうことにした。



リーダーとしては、雨が降ったことよっての不安やストレスがないか心配だった。けれど、スカウトのみんなは雨を良い方向にとらえていて、テント内で楽しく話し合いを進めていた様子だった。スカウトたちの成長した姿が、そこにあったのである。

次の日と最終日は、1学期間、14時から集会をしていたがなごりを認めてくれたかのように、太陽がさんさんと顔を出していた。

### 夏キャンプ

シニア 高木菜由子

「夏のキャンプ」と聞いて一番初めに頭に浮かぶのが、大雨の中、大涌谷を目指してハイキングをしたことです。

滝のように流れているハイキングコースをボランティアの方と一緒に歩いてゆきます。道に咲いている花や、名前の知らない木や草の説明をボランティアの方がしてくれました。植物は自分が生きてゆくために、それぞれ工夫をしていて、中にはユニークなものもありとても面白かったです。

大涌谷へ到着するまでにいろいろなハプニングもありましたが、

みんなと一緒に過ごせて楽しい思い出になりました。

### 夏キャンプに参加して

レンジャー 中山まりえ



今回の夏キャンで特に私の心に残ったことは、旭山動物園に行った時に見た、いくつかの手書きの掲示物です。

そこにはこんなことが書かれていました。

「今、環境に優しいと話題のパーム油はマレーシアの森林を伐採して栽培しています。その森林には元々、たくさん動物が住んでいましたが、人々の伐採により、ほとんどが絶滅の危機に追い込まれています。」

私はその掲示を見るまで、地球を救う為に私達人間がしていることが、動物を絶滅に追い込むことになるなんて、考えもしませんでした。

このキャンプのおかげで環境について、このように知らなかったことを知ることが出来ました。新たな知識をつけるのは大切なことだと思います。

この夏キャンに参加して本当に良かったと思っています。



霊南坂スカウト30周年記念誌（1977年）に掲載されたインタビュー記事を再掲します。

今井襄二氏は1996年昇天されました。

◇インタビューア・編集、安藤昭良

76年、暮れもおし迫った12月26日、私は写真担当の小宮さんと共に逗子にあるボーイ初代隊長今井襄二氏のお宅を訪問しインタビューすることに成功しました。これはその時の様子を再構成したものです。

（今井氏は古びたアルバムを手にして現われました。そして1ページ1ページ開きながら説明してくださいました）

A：来年で4団は創立30周年を迎えます。それで今井さんが隊長をしていた時分の事をいろいろお伺いしたいと思ひまして…

I：30年！ほう…もうそんなになるかねえ、んーと、そうか、もう30年だなあ。

A：今井さんはBSの初代隊長を務められたわけですね。で、一体、いつ頃から、隊長を始めて、どのくらいの間やっていたらしゃったのでしょうか。

I：2年、いや3年だったかな…。そう、始めたのが1947年、そして49年にやめたからまる3年間ですね。それから私は米国留学をしまして、以後は隊長には戻っていません。

A：では発足のいきさつや今井さんが隊長になられたきっかけなどをお話し下さい。

I：もともと私は海外で育ったわけで、かつてはホノルル36隊に所属していたのです。で、戦後の一時期、私は東京会館で働いていたのですけれど、その時に隣のオフィスにいた三島先生（第4代総長）と知り合い、それがこの世界に入るきっかけとなったのです。

A：で、具体的にはどうやって？

I：その頃私は霊南坂のすぐ近所に住んでいたもので、小崎牧師に直接話しをもちかけたのです。私はそこで「教会とは教会員のためにだけあるものではないでしょう。」と主張したのです。小崎牧師は快く承知してくれて、この時点で4隊（当時はそういう名称だった）は教会を育成団体として活動をするようになったわけです。

つまり4隊は戦後におけるチャーチスカウトの第一号だったということです。当時は偏狭な人も随分いました…、名前は申上げられませんが、ある教会なのですが、私がボーイスカウトの話をもちかけると、「教会の中にそういう組織は不要だ」と断わられたりもしました。

味があつてのことなのです。戦前の日本のボーイスカウトは隊長が先頭に立って思うようにスカウトを引率していく、悪く言えばスカウトは隊長のおもちゃだったのです。それだからこそ、教会という強力な組織に育成団体となってもらい、スカウトが、隊長のおもちゃ化するのを防ごうと考えた……。

A：スカウト達はどのようにして集めたのですか？

I：近隣の学校に話しをもちかけました。校長と直談判したのですが、一つの学校では、ボーイスカウトというものに理解をまったく示さず、あっさり断わられました。もう一つの学校ではうまくいきましたが…。そこで教会の周辺に住む子供を何人かピックアップしてもらったのです。

A：すると皆が教会員の子供というのではなくて？

I：そうです。それは関係ありません。そんなことで地域と遊離した子供が遠くから通ってきても意味がありませんから。

\*今井氏はアルバムのページを繰りつつ説明を続ける。ページはBS最初のキャンプの所にきていた。

I：これです。これが最初のキャンプ。

A：ハハハ、これはどこですか？

I：奥多摩です。たしか武蔵引田という所。

A：参加は何名でしたか。

I：全体で14～5名で、確か2人程来られなかった。これは四ツ谷駅で電車を待っているところです。

A：えっ、これが四谷？

I：そう。そしてこのキャンプは5隊と合同でやりました。当時（1947年）は集会所の庭先で、そのまねごとをするというならともかく、こんな風に遠出して本格的にキャンプができたのは4隊ぐらいでした。そこに5隊が同行したいと依頼してきたのです。そしていざ実行の6ヶ月前には参加するスカウト全員が自分の食べる分を減らして、1日におちょこ1杯の米を貯えはじめたのです。いざ行ってみると、食べるに足る量の米を持っているのは4隊だけで、5隊は代用食（ウドン粉、大豆の粉、とうもろこしの粉等とまぜて焼いて食べる）まで持ってきていました。食糧難だったからネ。他の食料はコネがあったから現地ですぐ入手できましたが。

A：備品の方は？

I：ほとんどが借り物でしたね。それからこのテント、これは確か教会のだったかな。……

\*続きは次号に掲載予定です。



上級副リーダー、そしてリーダーと日本を離れる1969年4月まで6年間、十思子ちゃん、智恵ちゃんの助けを得て、今度は私が教人の少女たちに教えるよう努力したつもりです。

「大石リーダー！・・・」えっ、この笑顔の若い女性達、誰だったかしら？..彼女たちをじーっとみる。私：40年前のスカウト達の顔が涙で潤ってしまった私の目の前にだんだんと見えてくる。

彼女選の横には当時はレンジローバーで現スカウトクラブのメンバーがニコニコと私を笑顔で迎えてくださる。想い掛けない人々に会え、そして夕食を共にさせて頂いた2009年4月21日。今でも時々その時の写真を見て懐かしく思い出している私です。皆さん本当にありがとうございます。

私が霊南坂教会の上級スカウトに参加させて頂いたのは1960年。霊南坂を登りきった所にあった教会。螺旋階段を回り小さな部屋でのミーティング。みんなで頑張った救急法、十思子ちゃんと二人でGS本部で得た一級賞、夏のキャンプ、教会の中庭での合同キャンプファイヤー、バスピク、バザー、朝早くの合同スケート、お餅つき大会、ナイトハイク、クリスマス礼拝、身体障害者施設訪問、そして多くの奉仕活動など思い出がいっぱいです。

1967年には、20周年記念式の担当者の一人としてGS、BSで私がピアノ、ローバーの？さんが指揮、恵子ちゃんが監督でオペレットを公演しました。志水功さん作詞作曲の「あしたに夕べに」です。

3年間上級スカウトで学んだことを

ヨーロッパにきてスカウト活動に加わることはできませんでしたが、霊南坂スカウトで学んだことは北欧、EU諸国、そのほか中近東に住み、仕事をする中で彼らの世界にスムーズに入って行けた陰の力になっていたのだと思います。

絶え間ない国際紛争、経済恐慌、自然災害、避けられない地球温暖化、全てが凄まじいスピードで流れてゆく21世紀。だからこそ身近な人々と助け合い、話し合い、そして友情と人間関係をますます大切にしなければならぬと思います。お忙しいところ声をかけて下さり、お宅にお邪魔させて頂いた針替さんのおお様様、智恵ちゃん、本当に有難うございました。

又お会い出来た私が上級スカウト時代そのままの優しいリーダーたち、いつでも皆さんの笑顔が見え

ます。

大切な贈り物です。ありがとうございます！



### 大石リーダーは、恐かったな！

大石みち子リーダーが、フランスから帰国なさったと言う連絡を頂き40数年振りにお会いしました。

霊南坂教会でのスカウト時代の思い出が一気に蘇り集まった皆様と楽しいお喋りの花が咲きました。

私には一つ忘れられない思い出があります。キャンプ場の外れの山の斜面にスチール製のテーブルが捨てられていてこれを食事の時に使えば便利だなと思いつき持ち帰ったところ大石リーダーから大目玉！

当たり前ですよ。

キャンプでは食卓など竹と麻紐で全て手作りでした。

あの時の大石リーダーは、恐かったな！懐かしい思い出です。

山口(旧姓 鈴木) 房子

# ど ん し ん

## SHOT BAR

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に  
お立ちよください  
詳しくは、電話かホームページで  
<http://www.donshin.jp>

日曜定休  
PM 6:00~  
目黒区祐天寺 1-22-2 2F  
03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です

## アフガニスタン大使館訪問

AJ-SEP (アフガニスタン・日本スカウト交流プロジェクト) は6月3日、東京狸穴のアフガニスタン大使館を訪問、エクリル・アハマド・ハキミ大使とアフガンでのスカウト活動の現状について伺い、今後の支援について意見の交換をしました。



## 平和を考え祈る会

霊南坂教会では毎年、8月の聖日の礼拝の後「平和を考え祈る会」を開催しています。戦争体験や被爆体験をされた方々、教会員はじめ内外の方々から貴重な体験談を伺い、平和を考え祈る時を守っています。今年8月9日(日)にAJ-SEP(アフガニスタン・日本スカウト交流プロジェクト)の活動についてそのレクチャーをすることを依

頼されました。

1. AJ-SEPの発足と目的。
2. 霊南坂スカウトの歴史発団当時の状況、チャーチスカウトとしての自覚と活動。
3. アフガニスタンのスカウト運動の歴史(かつて世界連盟に加盟していた)現在、復興をめざして頑張っている。

30年を越える戦乱と暗黒時代に育った、平和を知らないアフガニスタンの少年少女たちへの思いと最新のアフガニスタン情報。

4. AJ-SEPの活動を通して平和への願い。

スカウト運動の本質。奉仕の精神 創始者B-Pの思い。

「やくそく」と「おきて」を掲げ、宗教、人種、国籍、貧富の差を超えた活動である。

概略以上のような内容を説明しました。

多くの教会員のみなさまにAJ-SEPの活動とスカウト(スカウトクラブの存在も)についての理解と励ましをいただき、有意義な会となりました。

最後に平和を祈る心をこめて賛美歌21の371番「この子どもたちが」を歌いました。

## 霊南坂スカウトクラブ 告知板

### これからの予定表

10月24日(土):教会バザー

12月12日(土):スカウト合同クリスマス

2010年

1月16日(土):スカウト合同餅つき

2月21日(日):スカウトサンデー

3月13日(土):第20回ボーイスカウト研修会

### スカウトクラブ、バザーに出店

スカウトクラブとしての場所は特に与えられていませんが、去年と同様AJ-SEPの協力で一隅と園庭スロープに出店させていただきます。

出品品目は:杏仁豆腐(朱村兄の協力のもと)、パン(小田島姉)、クッキー(西谷姉方、一部マグカップに入れて)、シュシュ(軽井沢合宿の成果)です。

教会バザー委員会からの要請で入場受付要員としてスカウトクラブから2名が参加することになりましたので、お手伝い的人数が足りません。協力してくださる方をお待ちしています。

受付担当の責任者は教会の中谷和子姉

アメリカ在住の安積発也兄が10月21日来日するとのことです。高橋弘長兄のおかげで、10月23日(金)6時、浜松町貿易センタービル38階・貿易センタークラブの予約ができました。会費6000円の予定。お問合せ、申込みは090\*9001\*4187 日下部兄までご連絡ください。

### 編集後記

今年スカウトクラブへの入会、入金が少しずつ増えています。皆様にこの会報を送る地道な作業の結果ではないかと役員一同喜んでおります。会員増を励みの一つとして、引き続き頑張ります。 田中新二

TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木1-3-41(アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX: 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂3-4-9

TEL: 03-3422-5538 FAX: 03-3421-3034